はじめに

2013年に『学び手の視点から創る小学校の体育授業』（鈴木直樹・梅澤秋久・鈴木聡・松本大輔編著）を出版させていただきました。本書は、この書籍の姉妹書にあたります。「学び手の視点から創る」というコンセプトは同一にし、中高の教員を目指す学生だけでなく、中高の保健体育の教員が、よりよい授業を目指して授業改善に取り組むことを支える書籍となるように構成しました。

本書の作成にあたっては、「中等保健体育科教育法」で活用できることを念頭に置きつつ、中高の教員が専門的力量を高めると共に、日々の授業づくりを助けるような構成になるように工夫をしました。そこで、中高の教員として知っておいてほしいことの軸として「指導方法」をテーマとすることにしました。しかも、ただやり方だけをなぞるのではなく、「なぜ」「どうして」という疑問を大切にし、子ども達にあった「指導方法」を選択できるような構成にするように心がけました。そのため、第Ⅰ部では、指導方法を考える上での基盤となる理論について最低限の内容を厳選して、わかりやすく説明をしました。その土台をもとに第Ⅱ部では、中高の教員に知っておいてほしい代表的な指導方法について理論を示し、その理解を深めるために具体的な授業実践例を提示することにしました。さらに、第Ⅲ部では、指導方法をより有効にしていくために、工夫したいポイントについて要点を押さえて提示していくようにしました。

さて、本書の編集は、前書から引き続き、私、鈴木直樹（東京学芸大学）と梅澤秋久先生（横浜国立大学）を中心にして行ってきました。梅澤先生と私は同い年で、よき研究仲間でもあり、よきライバルでもあります。共に研鑽し合う中で、互いの研究を磨きあってきた仲間です。共に教員養成課程に所属する教員として中等教員養成における体育科教育学のあり方に疑問を感じ、この中高の教員免許取得にあたって必修となっている中等保健体育科教育法の授業で活用できる書籍の必要性を見いだし、この書籍の出版を計画したのは2013年のことでした。2014年の秋から活用できるように考えて準備をしてきましたが、理論と実践を融合させて掲載させるためには準備期間が必要で、執筆に長い時間がかかってし

まいました。この間、実践者の方にも辛抱強く書籍づくりにあたって協働をしていただき、本当に感謝をしています。お陰様で実践のイメージが湧きやすい、読者の実践につながりやすい書籍になったと確信をしています。これも本書に関わってくださったすべての人のお陰と感謝をしております。

また、2015 年の春からは、長年、中学校で教鞭をとられ、現在は日本女子体育大学に勤務されている宮本乙女先生にも編集に加わっていただきました。私は、10 年以上前になりますが、宮本先生の授業を参観する機会を得ました。それは男女共習のダンスの授業でしたが、豊かなかかわり合いの中で、創造性豊かに学び合い、運動の世界が更新されていく姿に興奮を覚えたことを今でもはっきりと思い出すことができます。そんな宮本先生が加わってくださったことで、中高の先生の眼差しから授業を捉え、学び手の視点に立った授業づくりを具体化するためのニーズを明確にし、適切な構成を作り上げることができたと思います。

そして、日本の学校体育をリードしている優れた実践者に数多く参加していただいたことに心から感謝を申し上げます。これだけ多くのメンバーが本書のコンセプトに共感し、協力してくださったことは大きな喜びです。そして、この喜びがこれから本書を介してつながる多くの方とともにもっと大きなネットワークとして広がり、実践共同体を創り出すことができれば、この上ない幸せです。

本書は、大学の講義でも使用しやすいよう、第 15 回目の講義を全体の整理としてとらえて 14 章構成になっています。また、まとめの代わりに、資料やコラムを活用していただいても構いません。第 1 章から読み進めなくても順番を変更して読み進めることも可能です。

現職の先生方には、必要な箇所を選んで読んで実践をしていくことで、理解が深まり、専門的な力量の向上にもつながると考えます。どうか気軽にお好きなところから読み進めてみてください。

平成 28 年 3 月

編著者代表　鈴木直樹

学び手の視点から創る中学校・高等学校の保健体育授業〈体育編〉

目　次

はじめに …… 鈴木　直樹… i

第Ⅰ部　中高の保健体育って何？

第1章　**保健体育のゴールイメージ（保健体育の目的論）**
― 保健体育の学習がめざすもの ― ……梅澤　秋久…2

1. 保健体育科における問題の所在　2
2. 現代の子どもの「からだ」　7
3. 生涯学習者社会における保健体育科の学習デザイン　9
4. まとめ「生涯学習者社会における保健体育科のゴール」　12

第2章　**保健体育のスコープとシークエンス** ― 保健体育のカリキュラム論 ―
…… 鈴木　直樹…15

1. はじめに　15
2. カリキュラムの構成 ― スコープとシークエンス　16
3. 顕在的カリキュラムと潜在的カリキュラム　17
4. カリキュラム開発　18
5. 米国のスタンダードに学ぶ　19
6. まとめ　23

第3章　**保健体育教師の専門性** ― 保健体育教師論 ―
…… 宮本　乙女…25

1. はじめに　25
2. 生徒の実態　25
3. 他の教科との学習環境の違い　29
4. 学校段階の特徴　31
5. 学校内での期待　33

第Ⅱ部　どんな指導方法があるの？

第4章　**保健体育の指導方法のレビュー** …… 成家　篤史…36

1. 社会性を身につけることを重視した指導方法　36
2. 段階的な技能指導に注目した指導方法　38

3. 課題解決を重視した指導方法 39
4. 個々人の意味生成に注目した指導方法 41
5. 主題を探求する活動を中心とした指導方法 41
6. まとめ 43

第5章 **課題解決的な学習** ― 課題解決的な学習の理論 ― …… 宮本 乙女…46

1. はじめに 46
2. 課題解決的な1時間の進め方 46
3. 課題解決型学習への批判 49
4. 課題解決的な学習のポイント 51

実践例1 **柔道** …… 宮本 乙女…53

1. 具体的な指導法 53
2. 授業の実際 54
3. 指導方法の成果と課題 57
4. 指導を行うためのワンポイントアドバイス 58

実践例2 **ダンス** …… 熊谷 昌子…59

1. 具体的な指導法 59
2. 授業の実際 59
3. 指導方法の成果と課題 63
4. 指導を行うためのワンポイントアドバイス 64

第6章 **協同的な学習** ― 協同的な学習の理論 ― …… 梅澤 秋久…65

1.「きょうどう」が学校教育に求められる時代に 65
2. 協同的な学習の方法 69
3. まとめにかえて ― 協同的な学習の推進に向けて ― 73

実践例1 **器械運動「マット運動」** …… 梅澤 秋久…74

1. 協同的な学習のための単元構成 74
2. 授業の実際 75
3. まとめ 79

実践例2 **球技「ゴール型」** …… 梅澤 秋久…80

1. 協同的な学習のための単元構成 80

2. 授業の実際　*81*
3. まとめ　*84*

第7章　戦術的な学習の授業づくり ― 戦術的な学習の理論 ―
…… 鈴木　直樹…*85*

1. はじめに　*85*
2. 戦術学習は従来の指導と何が違うのか？　*86*
3. 戦術学習の指導プロセス　*89*
4. Game as teacher　*91*

実践例1　球技「ネット型」 …… 大熊誠二・中村有希…*92*

1. はじめに　*92*
2. 展開構成　*92*
3. 授業の概要　*93*
4. まとめ　*97*

実践例2　陸上競技「ハードル走」 …… 藤澤　　潤…*98*

1. はじめに　*98*
2. 戦術学習を応用した陸上競技の授業コンセプト　*99*
3. 授業の概要　*101*
4. まとめ　*103*

第8章　社会的スキルを学ぶ授業づくりの理論
― TPSR を導入した授業づくり ―　……成家　篤史…*105*

1. TPSR とは　*105*
2. TPSR の５つの水準　*106*
3. 日常的な計画（Daily Program Format）　*107*
4. 授業実践するうえでのポイント　*109*
5. まとめ　*111*

実践例1　TPSR に基づく授業実践 ……菊地孝太郎…*112*

1. 実践の背景　*112*
2. 授業の実際　*113*
3. 指導方法の成果と課題　*117*
4. 指導を行うためのワンポイントアドバイス　*118*

第9章 動きの「感じ」と「気づき」を大切にした授業づくりの理論
—「感覚的アプローチ」による体育学習 — ……成家 篤史…*119*

1. なぜ動きの「感じ」と「気づき」を大切にするのか？ *119*
2. 社会構成主義的な学び *120*
3. 授業づくりの視点 *121*
4. 教師行動のポイント *122*
5. まとめ *123*

実践例1 器械運動「マット運動・跳び箱運動」……大熊 誠二…*125*

1. 具体的な指導方法 *125*
2. 授業の実際 全8時間計画 *127*
3. 指導方法の成果○と課題△ *130*
4. 指導を行うためのワンポイントアドバイス *130*

第10章 選択制体育の授業づくり……伊佐野龍司…*131*

1. 領域と内容選択の導入背景と方向性 *131*
2. 選択内容 *132*
3. 選択制授業における考え方 *135*

実践例1 中学校の事例……牧野 英一…*138*

1. 授業の実際 *141*
2. 指導方法の成果と課題 *143*
3. 指導を行うためのワンポイントアドバイス *143*

実践例2 高等学校の事例……小松原 誠…*144*

1. 授業の実際 *146*
2. 指導の成果と課題 *147*
3. 指導を行うためのワンポイントアドバイス *149*

第11章 インクルーシブ体育の授業づくり……中道 莉央…*150*

1. インクルーシブ教育の基本な考え方 *150*
2. 多様な学びの場 *151*
3. 子どもが直面する困難やつまずき *153*
4. 焦点化、視覚化、共有化 *154*

実際例 1　体つくり運動「体力を高める運動」……高橋　正年…*157*

1. はじめに　*157*
2. デュアルタスクについて　*158*
3. 授業の実際　*159*
4. まとめ　*162*

実際例 2　球技「ネット型」……田澤　久幸…*163*

1. 具体的な指導方法　*163*
2. 授業の実際　*163*
3. 指導方法の成果と課題　*167*
4. 指導を行うためのワンポイントアドバイス　*168*

第Ⅲ部　よりよい授業をつくるためには？

第 12 章　よりよい授業に改善する（授業評価論）……梅澤　秋久…*172*

1. はじめに　*172*
2. 教えること（学ばせること）を学び、振り返る　*172*
3. 授業研究および模擬授業による学び　*176*
4. 学校現場と大学の学びの融合　まとめにかえて　*177*

第 13 章　学び続ける教師を目指す（教師教育論）……鈴木　直樹…*179*

1. はじめに　*179*
2. 教員の研修は義務ですか？ それとも権利ですか？　*180*
3. 体育教師としての成長とアイデンティティ　*180*
4. まとめ　*184*

第 14 章　学習指導案の書き方……鈴木　直樹…*186*

1. はじめに　*186*
2. 指導案は何の為に書くのか？　*186*
3. 指導案には何を書けば良いのか？　*189*
4. まとめ　*191*

あとがき……梅澤　秋久…*192*

執筆者紹介 …… *194*

コラム

1　保健体育と生徒指導　*14*
2　保健体育と特別活動　*24*
3　運動部活動と体育教師　*45*
4　パラリンピックとオリンピック　*104*
5　体育授業　男女共習？ 別習？　*169*